



- そば学科 ● おさけ学科 ● デザイン学科
- クラフトビルド部 ● カフェ部
- てがみ学科 ● 里のしぜん学科
- 酒づくりの会 ● かたのキャンパス



交野おりひめ大学通信

令和5年8月号

一人じゃ出来ないことを、10人で、50人で、100人で！



4年ぶり開催の天の川七夕まつり、キャンドルアートに出展。

7月29日、交野おりひめ大学有志と現役大学生達が、天の川七夕まつりで、キャンドルアートにチャレンジ！ 炎天下のなか、一日汗にまみれながら、水辺プラザのメダカ池付近で2千5百個のグラスランタンを並べ、独自のキャンドルアートの世界を展開しました。

7月号でお伝えしたように、カフェ部リーダーの佐藤さんを中心に、早朝から集まった大学生達、まずは位置決めのための紐張りから着手。あらかじめ準備したイラストを、枠に合わせ実物大にマーキングしていきます。

ランタンは、通路から斜めの角度で見られるので、少し縦長に並べるのがミソ。このバランスが難しい！でも、こんな大きなキャンバスにのびのびとイラストを描けて、みんなとても楽しそう！

マーキングが終われば、後はひたすらランタンの瓶並べ。おりひめ大学のメンバーと一緒に、瓶並べが続きます。瓶の底にこびりついた昨年の口ウをこそげながらの作業なので、なかなか捗らず…。しかも、この猛暑で、口ウが溶け手もべたべたツルツルに…。

ひと通り並べたあとは、順番に上の通路にあげり、「上から3列目の左、もつと右へー！」なんて、大声で叫びながら、全体のバランスや形を見てもらいながら、瓶並べを続けます。こまめに休憩を挟み、水分補給や天野川に脚をつけ涼を取りながら、なんとか午前

中にようやく完成。

昼食をいっただいてからランタン点火までの空き時間は、星の里いわふねで浴衣着付けのお世話に。みんな揃って浴衣に着替え、お祭り気分を盛り上げ、展示や模擬店を楽しんだようです。写真撮影でも大いに盛り上がりました。着付けいただいたモリワキスタッフの皆さま、ありがとうございました！



↑ 艶やかな浴衣に身を包んだ大学生達

やがて日は傾き、点火式に。2千5百個もあるグラスランタン、点火もすぐには行きません。皆で手分けし、ひとつひとつ丁寧に点火していきます。用意したライターもあつという間にガス欠に…。でも、30分ほどかかり、ようやく点火完了。日が暮れ闇が増すにつれ、ランタンの灯りが輝きを増していきます。

今回のグラスランタンは、ヒマワリの咲く空をツバメが舞う姿を表現。夏に巣立つツバメと夏の花であるヒマワリで夏らしさを表現すると共に、これから社会へ羽ばたく自分たちを重ね思いを込めて表現したとのこと。
道行く子供たちの「きれいやなー！」「ヒマワリやー！」などの声に、これまでの疲れが吹き飛びます！

← 入学申込は、ホームページから



あなたの“やりたい”を、交野おりひめ大学ではじめてみませんか？



実は、ツバメの首のランタンを並べ忘れ「ツバメ」ならぬ「ハト」に見えたようです…。
あつという間に、片付けを迎え、早朝から夜中まで充実した一日に。
おりひめ大学と共同で実施したグラスランタン、現役大学生たちは自分たちの思いをキャンドルアートで表現できたことに、大きな感銘を受けたようでした。
大学メンバーのおっちゃん&おばちゃんも、大いに元気をいただきました！
暑い暑い夏の日、今年もいい思い出づくりができました。



↑ ツバメやヒマワリを配したグラスランタン